

6 センターサイディング標準施工法

6-1 施工手順

手順⑦ センターサイディング本体の施工

<横張り、縦張り共通の施工ポイント>

- 本体は専用ビス2で金属胴縁15に留め付けます。
- 本体2枚ごとに働き幅と水平を確認してください。働き幅は製品ロットによって多少異なる場合があります。
- F型、FB型、FN型(糸目地タイプのセンターサイディング)では、内部応力による変形防止のため、強く押しつけながら差し込まないでください。
- ビス打ちミスによる孔は、防水のため必ずシーリングでふさいでください。

<本体が横張りの場合の施工ポイント>

- 本体の嵌合部は雨水の横走り防止のため、本体左右端部から30mm程度の差し込み溝に捨てシーリングを施工します。
- 横張り時、軒天部で最上段のセンターサイディングは軒天までの寸法にあわせて長手方向に切断し、一旦見切縁などの奥(軒天側)まで差し込んでから、下段の本体に嵌合させます。
- 長手方向に切断した本体が反ることがありますので、本体の上部から下部へと押さえつけながら、本体上部を金属胴縁15に表面からビス留めし、ビス頭に補修塗料を塗布します。

<本体が縦張りの場合の施工ポイント>

- 張り始めと張り終わりで本体の倒れを防止するため、必要に応じて先付け付属部材と本体裏面との間に調整材を入れます。
- 張り始めと張り終わりを金属胴縁15に表面からビス留めし、ビス頭に補修塗料を塗布します。

手順⑧ 後付け付属部材の施工(S出隅カバーなど)

- カバーなどの後付け付属部材の差し込みが硬い場合は、当て木などをあて徐々に差し込んでください。直接たたくと変形や破損の原因になります。